

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 フマキラー株式会社

コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 眞弘

TEL 0829-55-2112

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 15,405 | 7.8 | 2,073 | 60.7 | 2,081 | 76.5 | 1,170 | 94.2 |
| 21年3月期第2四半期 | 14,286 | — | 1,290 | — | 1,179 | — | 602 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 39.98 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 20.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 16,350 | 7,403 | 43.4 | 242.48 |
| 21年3月期 | 17,447 | 6,226 | 34.2 | 203.79 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 7,097百万円 21年3月期 5,966百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | — | — | 8.00 | 8.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 24,200 | 13.8 | 1,520 | 57.5 | 1,620 | 181.7 | 880 | 73.2 | 30.06 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ「4. その他(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ「4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 29,400,000株 21年3月期 29,400,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 128,967株 21年3月期 122,862株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 29,274,366株 21年3月期第2四半期 29,295,529株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する項目については、添付資料の4ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

| 指標等 | 21年3月期 第2四半期累計 | 22年3月期 第2四半期累計 | 増減額 | 増減率(%) |
|--------------------|-------------------|-------------------|-------|--------|
| 売上高 | 14,286 | 15,405 | 1,119 | 7.8 |
| 営業利益 | 1,290 | 2,073 | 783 | 60.7 |
| 経常利益 | 1,179 | 2,081 | 901 | 76.5 |
| 四半期純利益 | 602 | 1,170 | 567 | 94.2 |
| 1株当たり四半期 純利益(円) | 20.57 | 39.98 | — | 94.3 |

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日)におけるわが国の経済は、輸出や生産に一部持ち直しの動きがみられるものの、企業収益の悪化による民間設備投資の低迷や、雇用情勢が悪化するなかで消費者の節約志向が続くなど、依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤、家庭用品、園芸用品の成長カテゴリに新価値創造型新製品を積極的に投入し、既存事業の強化・育成を図るとともに、経費の効率的な運用やコストダウン等による利益構造の改革、および海外事業の拡大強化等の課題に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、154億5百万円(前年同期比7.8%増)となりました。そのうち、国内売上高は前年同期比11.5%増と極めて好調に推移し131億63百万円となりましたが、海外売上高は為替レートの影響により前年同期比9.8%減の22億42百万円となりました。

売上総利益につきましては、会計処理基準の変更により、従来営業外費用で計上していたたな卸資産処分損1億98百万円を売上原価に計上していますが、付加価値の高い商品の販売やコストダウンにより売上原価率が2.7ポイント減少したため、売上総利益は60億53百万円(前年同期比15.7%増)となりました。また、返品調整引当金繰入額(純額)を控除した差引売上総利益は58億98百万円(前年同期比14.3%増)、連結営業利益は20億73百万円(前年同期比60.7%増)、連結経常利益は20億81百万円(前年同期比76.5%増)、連結四半期純利益は11億70百万円(前年同期比94.2%増)となりました。

部門別売上高の概況は次の通りです。

(単位：百万円)

| | 21年3月期 第2四半期累計 | 22年3月期 第2四半期累計 | 増減額 | 増減率(%) |
|------|-------------------|-------------------|-------|--------|
| 殺虫剤 | 10,907 | 10,408 | △499 | △4.6 |
| 家庭用品 | 514 | 2,077 | 1,562 | 303.6 |
| 園芸用品 | 1,415 | 1,458 | 42 | 3.0 |
| 防疫剤 | 781 | 764 | △17 | △2.3 |
| その他 | 666 | 697 | 30 | 4.6 |
| 合計 | 14,286 | 15,405 | 1,119 | 7.8 |

殺虫剤部門につきましては、需要が拡大している電池式蚊取り「どこでもベープ」やワンプッシュ式の次世代蚊取り「おすだけベープ」、設置型虫よけ「虫よけバリア」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与し、殺虫剤市場において当社は業界平均以上の二桁の伸び率を達成することができました。今期は、返品率改善に向けて店頭活動の強化、卸の在庫調整等に取り組んだ結果、流通在庫が大幅に削減し、出荷ベースの売上は前年並みとなりました。海外では、フマキラーインドネシア(株)の売上が大幅に増加し、計画通りの売上を達成することができました。インドやメキシコの子会社においても、販売体制を再構築している中で、増収を確保することができました。しかしながら、海外売上は円高による為替レートの影響により円貨ベースではマイナスとなり、国内および海外の殺虫剤合計の連結売上高は104億8百万円(前年同期比4億99百万円減、4.6%減)となりました。

家庭用品部門は、新型インフルエンザの発生もあり、アルコール除菌関連を含む新製品の売上が大きく伸びた

め、家庭用品合計の売上高は20億77百万円（前年同期比15億62百万円増、303.6%増）となりました。

園芸用品部門は、ハンドスプレータイプの殺虫殺菌剤や園芸用不快害虫用殺虫剤等の売上が好調に推移し、園芸用品合計の売上高は14億58百万円（前年同期比42百万円増、3.0%増）となりました。

防疫剤部門は、7億64百万円（前年同期比17百万円減、2.3%減）となり、その他の部門の売上高は6億97百万円（前年同期比30百万円増、4.6%増）となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費（広告宣伝費のような政策費を除く）は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）における総資産額は、前連結会計年度末に比べて10億96百万円減少し163億50百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が19億19百万円増加し、30億55百万円となったこと、及び投資有価証券が2億49百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金33億31百万円、仕掛品が1億6百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて22億73百万円減少し89億47百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金7億28百万円、未払法人税等9億48百万円、売上割戻引当金4億54百万円、返品調整引当金が1億55百万円増加した一方で、短期借入金が45億64百万円減少し、1億円となったことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて11億76百万円増加し74億3百万円となりました。なお自己資本比率は9.2%増加し43.4%となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によって獲得した資金は70億10百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が20億82百万円、減価償却費2億47百万円、売上債権の減少額が33億90百万円、たな卸資産の減少額が1億79百万円、仕入債務の増加額が6億77百万円があったことなどによるものであります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動に使用した資金は、2億82百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出1億77百万円、投資有価証券の取得による支出1億円を支出したことなどによるものであります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動に使用した資金は、48億32百万円となりました。これは金融機関への借入金の返済による支出50億93百万円があったことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億8百万円増加し、26億34百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の連結業績予想数値の修正)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 (円 銭) |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 23,800 | 1,140 | 1,200 | 630 | 21.51 |
| 今回発表予想 (B) | 24,200 | 1,520 | 1,620 | 880 | 30.06 |
| 増減額 (B-A) | 400 | 380 | 420 | 250 | — |
| 増減率 (%) | 1.7 | 33.3 | 35.0 | 39.7 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成21年3月期) | 21,261 | 965 | 575 | 508 | 17.35 |

当社グループでは、今後もお客様のニーズを捉えた付加価値の高い新製品の開発と継続的な改良、戦略的かつ重点的な経営資源の投入によるブランド力の強化、営業活動の強化によるお得意先との関係強化等に努めるとともに、成長性や利益性が見込まれる商品の販売に注力してまいります。また、原材料等の仕入コストの上昇によるコストアップの抑制に取り組むとともに、経費の効率的な運用並びに在庫圧縮に努め、環境の変化に対応できる企業体質の確立に取り組んでまいります。

当社グループでは、最近の業績等を鑑み、上記の通り通期の連結業績予想を修正いたします。また、個別の業績予想につきましても同様に修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済・事業環境の変動等の事業リスクや不確定要因により、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しています。

・連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

特有の会計処理

該当する事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計基準等の改正に伴う変更

該当する事項はありません。

② ①以外の変更

たな卸資産の処分に係る損失の計上区分

従来、たな卸資産の処分に係る損失であるたな卸資産処分損については、「営業外費用」に計上しておりましたが、季節性のある取扱商品の多様化に対応した採算管理及び原価管理の強化の一環として、より適切な製品別原価管理を行うために、当第1四半期連結累計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上総利益及び営業利益が198,861千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なおセグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(4) 追加情報

返品調整引当金

季節性のある取扱商品が多様化したことに対応して採算管理を強化しており、得意先における保管在庫の管理徹底を進めてきたことを背景として、季節に対応した返品率を根拠とした従来の見積方法から、より実態に即した算定方法として、年間の平均返品率を使用した見積方法により返品見積額を算定する方法に見直しを行っております。この結果、従来の方法と比較して、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が105,416千円増加しております。なおセグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,055,557 | 1,136,393 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,941,667 | 6,273,606 |
| 商品及び製品 | 3,214,532 | 3,281,369 |
| 仕掛品 | 540,119 | 647,041 |
| 原材料及び貯蔵品 | 928,485 | 890,544 |
| その他 | 948,744 | 607,429 |
| 貸倒引当金 | △1,635 | △1,422 |
| 流動資産合計 | 11,627,470 | 12,834,963 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 851,585 | 858,482 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 921,002 | 993,386 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 138,984 | 187,744 |
| 土地 | 665,479 | 654,198 |
| 建設仮勘定 | 19,476 | 1,921 |
| 有形固定資産合計 | 2,596,529 | 2,695,734 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 118,989 | 120,668 |
| 投資有価証券 | 1,898,218 | 1,648,251 |
| その他 | 132,518 | 170,722 |
| 貸倒引当金 | △23,090 | △23,118 |
| 投資その他の資産合計 | 2,007,646 | 1,795,854 |
| 固定資産合計 | 4,723,166 | 4,612,257 |
| 資産合計 | 16,350,636 | 17,447,221 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,663,353 | 3,934,873 |
| 短期借入金 | 100,094 | 4,664,708 |
| 未払法人税等 | 1,265,840 | 317,382 |
| 役員賞与引当金 | — | 12,900 |
| 賞与引当金 | 129,751 | 178,996 |
| 売上割戻引当金 | 635,015 | 180,470 |
| 返品調整引当金 | 488,072 | 332,535 |
| その他 | 752,422 | 734,708 |
| 流動負債合計 | 8,034,551 | 10,356,575 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 78,944 | 68,793 |
| 役員退職慰労引当金 | 393,410 | 373,460 |
| その他 | 440,301 | 421,521 |
| 固定負債合計 | 912,656 | 863,774 |
| 負債合計 | 8,947,207 | 11,220,350 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,889,600 | 2,889,600 |
| 資本剰余金 | 1,300,089 | 1,300,089 |
| 利益剰余金 | 3,156,952 | 2,220,800 |
| 自己株式 | △37,053 | △34,217 |
| 株主資本合計 | 7,309,587 | 6,376,271 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 45,308 | △80,307 |
| 為替換算調整勘定 | △257,357 | △329,485 |
| 評価・換算差額等合計 | △212,048 | △409,792 |
| 少数株主持分 | 305,889 | 260,391 |
| 純資産合計 | 7,403,428 | 6,226,870 |
| 負債純資産合計 | 16,350,636 | 17,447,221 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 14,286,251 | 15,405,413 |
| 売上原価 | 9,055,041 | 9,351,477 |
| 売上総利益 | 5,231,209 | 6,053,935 |
| 返品調整引当金戻入額 | 258,918 | 332,535 |
| 返品調整引当金繰入額 | 329,408 | 488,072 |
| 差引売上総利益 | 5,160,719 | 5,898,398 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,869,957 | 3,824,583 |
| 営業利益 | 1,290,762 | 2,073,814 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,996 | 2,821 |
| 受取配当金 | 37,077 | 77,523 |
| 為替差益 | 11,192 | 16,740 |
| その他 | 25,976 | 26,249 |
| 営業外収益合計 | 79,243 | 123,335 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,348 | 11,875 |
| 売上割引 | 47,118 | 76,853 |
| たな卸資産処分損 | 103,511 | — |
| その他 | 20,370 | 26,864 |
| 営業外費用合計 | 190,349 | 115,593 |
| 経常利益 | 1,179,656 | 2,081,556 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,174 | 564 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 1,261 |
| その他 | 487 | — |
| 特別利益合計 | 3,661 | 1,825 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2,230 | 388 |
| 投資有価証券評価損 | 19,182 | 623 |
| その他 | — | 8 |
| 特別損失合計 | 21,412 | 1,020 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,161,905 | 2,082,361 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 820,548 | 1,273,873 |
| 法人税等調整額 | △290,291 | △407,438 |
| 法人税等合計 | 530,256 | 866,434 |
| 少数株主利益 | 28,906 | 45,557 |
| 四半期純利益 | 602,742 | 1,170,369 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,161,905 | 2,082,361 |
| 減価償却費 | 192,953 | 247,699 |
| 負ののれん償却額 | △158 | △1,470 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 9,155 | 1,172 |
| 前払年金費用の増減額 (△は増加) | △8,541 | 31,292 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 210 | 185 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | 434,427 | 566,505 |
| 受取利息及び受取配当金 | △43,664 | △80,344 |
| 支払利息 | 20,938 | 11,875 |
| 為替差損益 (△は益) | △5,220 | △7,907 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 19,182 | 623 |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益) | △944 | △175 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 2,925,373 | 3,390,736 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 246,166 | 179,450 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,088,195 | 677,727 |
| その他 | △75,836 | 170,018 |
| 小計 | 5,964,143 | 7,269,748 |
| 利息及び配当金の受取額 | 41,883 | 81,234 |
| 利息の支払額 | △17,408 | △7,098 |
| 法人税等の支払額 | △325,391 | △333,821 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,663,226 | 7,010,063 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 10,000 |
| 定期預金の預入による支出 | △20,000 | △21,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △321,945 | △177,022 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,174 | 564 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △15,771 | △100,631 |
| 貸付金の回収による収入 | — | 3,000 |
| その他 | 1,892 | 2,374 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △352,650 | △282,714 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 1,150,000 | 510,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △4,900,000 | △5,093,951 |
| 自己株式の取得による支出 | △4,840 | △2,835 |
| 配当金の支払額 | △198,921 | △234,217 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △14,766 | △11,511 |
| その他 | 1,014 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,967,513 | △4,832,516 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △27,197 | 13,331 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,315,865 | 1,908,163 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 772,713 | 726,393 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,088,579 | 2,634,557 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める殺虫剤、園芸用品、家庭用品、防疫用剤事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社は殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業としており、一セグメントの売上高及び営業利益の金額がいずれも合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

| 売上高 | 日本 (千円) | アジア (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|----------------|------------|
| 外部顧客に対する売上高 | 12,389,576 | 1,896,674 | 14,286,251 | — | 14,286,251 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 209,982 | 272,816 | 482,799 | △482,799 | — |
| 計 | 12,599,559 | 2,169,491 | 14,769,050 | △482,799 | 14,286,251 |
| 営業利益 | 1,184,367 | 48,491 | 1,232,859 | 57,902 | 1,290,762 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
(1) アジア：インドネシア
3. 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用しております。なお、これによる損益への影響は軽微であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

| 売上高 | 日本 (千円) | アジア (千円) | 中米 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|------------|----------------|------------|
| 外部顧客に対する売上高 | 13,600,221 | 1,731,480 | 73,710 | 15,405,413 | — | 15,405,413 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 281,520 | 290,125 | — | 571,645 | △571,645 | — |
| 計 | 13,881,742 | 2,021,606 | 73,710 | 15,977,058 | △571,645 | 15,405,413 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 1,841,838 | 215,370 | △7,642 | 2,049,566 | 24,248 | 2,073,814 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
(1) アジア：インドネシア、インド
(2) 中米：メキシコ
3. 会計処理基準に関する事項の変更
たな卸資産の処分に係る損失の計上区分
従来、たな卸資産の処分に係る損失であるたな卸資産処分損については、「営業外費用」に計上していましたが、季節性のある取扱商品の多様化に対応した採算管理及び原価管理の強化の一環として、より適切な製品別原価管理を行うために、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、「日本」の営業利益が198,861千円減少しております。

4. 追加情報

返品調整引当金

季節性のある取扱商品が多様化したことに対応して採算管理を強化しており、得意先における保管在庫の管理徹底を進めてきたことを背景として、季節に対応した返品率を根拠とした従来の見積方法から、より実態に即した算定方法として、年間の平均返品率を使用した見積方法により返品見積額を算定する方法に見直しを行っております。この結果、従来の方法と比較して、「日本」の営業利益が105,416千円増加しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

| | アジア | その他 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 2,042,434 | 442,238 | 2,484,672 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 14,286,251 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 14.3 | 3.1 | 17.4 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) アジア : マレーシア、インドネシア
(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

| | アジア | その他 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 1,842,776 | 399,435 | 2,242,211 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 15,405,413 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 12.0 | 2.6 | 14.6 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
(2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

(千円)

| 事業区分 | 前第2四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 10,907,484 | 76.3 |
| 家庭用品 | 514,809 | 3.6 |
| 園芸用品 | 1,415,200 | 9.9 |
| 防疫剤 | 781,847 | 5.5 |
| その他 | 666,909 | 4.7 |
| 合計 | 14,286,251 | 100.0 |

| 事業区分 | 当第2四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 10,408,358 | 67.6 |
| 家庭用品 | 2,077,560 | 13.5 |
| 園芸用品 | 1,458,110 | 9.4 |
| 防疫剤 | 764,009 | 5.0 |
| その他 | 697,374 | 4.5 |
| 合計 | 15,405,413 | 100.0 |

| 事業区分 | 前連結会計年度 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 | |
|------|-------------------------------------|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 13,902,231 | 65.4 |
| 家庭用品 | 2,459,501 | 11.6 |
| 園芸用品 | 2,178,362 | 10.2 |
| 防疫剤 | 1,421,949 | 6.7 |
| その他 | 1,299,536 | 6.1 |
| 合計 | 21,261,580 | 100.0 |

(注) 金額は純売上高（消費税等抜き）によっております。